

地球温暖化防止実行計画に係る取組結果について(令和元年度)

第2次安曇野市地球温暖化防止実行計画は、市の事務・事業における温室効果ガス排出量の削減の取り組みとして、平成28年9月に策定しました。本計画での削減目標は二酸化炭素排出量を前年度比1.0%以上の低減としています。

この度、令和元年度の取組結果がとりまとめられましたので報告します。

二酸化炭素総排出量は前年度と比較して、約2.87%(564,577kg)減少という結果になりました。

なお、この結果について、影響のあった要因は以下のとおりと考えられます。

・増加要因

- ①認定こども園等の建て替えによる床面積の増加
- ②改修・改装等により閉館・休業していた施設の再開

・減少要因

- ①一部施設の譲渡・廃止
- ②新型コロナウイルス対応のための施設の閉館・休校等
- ③公用車の削減、低燃費車両の導入によるガソリン、軽油使用量の減少

全体を比較した結果、温室効果ガス総排出量は、削減目標としている前年度比1.0%以上の低減を達成することができました。

気候や新型コロナウイルス等の外的要因もありますが、環境マネジメントシステム「エコアクション21」の対象施設を平成29年度からエネルギー使用量の大きい学校・給食センターにまで拡大し、PDCAサイクルを通じた施設の運用改善が進んだことも一因と考えられます。

「エコアクション21」については、指定管理施設などの対象とすることが難しい施設も外部の事業者のご理解・ご協力を得ながら削減に努めていく必要があります。

また、小学校では令和2年から、中学校では令和3年からのエアコン稼働が予定されていることから、作成済みのマニュアルに基づく適切な運用が求められます。

○令和元年度二酸化炭素排出量および前年度との比較(エコアクション21と同様の係数による)

エネルギー種別	令和元年度			平成30年度	
	使用量 ①	係数 ②	CO2排出量 (kg) (①×②) ③ (全体に占める割合)	CO2排出量 (kg) ④	H30 年度比 (③÷④) ⑤
電気	27,076,422 kwh	0.513	13,890,204 (72.73%)	14,216,579	△ 2.30%
灯油	1,166,263 ℓ	2.492	2,906,247 (15.22%)	3,196,864	△ 9.09%
LPG	132,903 m ³	6.214	825,869 (4.32%)	882,668	△ 6.43%
重油	354,550 ℓ	2.710	960,699 (5.03%)	831,585	15.53%
ガソリン	127,370 ℓ	2.322	295,711 (1.55%)	313,300	△ 5.61%
軽油	84,077 ℓ	2.624	220,647 (1.16%)	222,957	△ 1.04%
合計			19,099,376 (100.00%)	19,663,953	△ 2.87%

※経年比較のため、係数はエコアクション21導入時と同様の数値を用いて算出しています。

※係数等の表示単位未満の四捨五入により、計算が合わない場合があります。